

道東知的障がい児・者家族会便り

発行日 令和3年5月5日 No.6

発行者 道東知的障がい児・者家族会会長 飯田 壮一

道東家族会 令和3年度 総会中止について

昨年度は、コロナ感染拡大のため、総会並びに各事業を全て中止いたしました。一年経つとある程度は収まるかと思っていましたが、今では、感染度の高い変異ウイルスが蔓延し、大都市及び北海道の感染者が急増している状況です。従いまして、4月18日（日）、リモート役員会を経て今年の総会も中止し、議案書の送付のみとさせていただくことにしましたので、ご了承願いたいと存じます。

総会議案書は、全員の手元に届かない場合があるかも知れませんが、議案書の概要を記載します。

1. 報告事項として（要望活動）

- ・北海道福祉部は令和3年1月に、第6期北海道福祉計画素案を各福祉施設に送り意見を求めました。道家連は、2月上旬に各支部から意見要望を集約し、道に提出しました。道家連の意見・要望及び道からの回答は3月中旬に出て、議案書の資料に載せてあります。道東家族会からは、各家族会との交流会、会長会議、役員会等で出されていた意見・要望事項5点を道家連に上げ、組み入れてくれました。その5点のみ記載します。

① 意見—地域生活移行に重きを置き、入所施設運営を軽んじるような道の施策に見えるが両方に力を注いでほしい

回答—障がい者基本法第3条2項に「全て障がい者は、可能な限り、どこで誰と生活するか選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げないこと」とあり、施設に入所している方を施設外で暮らすよう促すものではない。

② 意見—グループホーム利用者の状態観察や通院介助等の世話をする看護師を置いた場合の加算を付ける処置をとってほしい。

回答—グループホーム指定基準に定める員数の従業員に加え、看護師を配置した場合、1日につき所定単位数を加算（看護職員加算）することができることとなっており、これにより状態観察等を行うことは可能です。

③ 意見—日中支援、夜間支援とも24時間切れ目のない支援を受けられる職員配置を整備してほしい。（含・GHの夜警員）

回答—「日中サービス支援型共同生活支援」が創設され、24時間切れ目のない支援を受けることができる体制づくりを整備している。（GHの夜警員には 加算される）

④ 意見—利用者の重度化・高齢化に伴い、日常の衛生用品を個人の年金で購入し、その金額も増加しています。今後に向けて購入補助を検討していただきたい。

⑤ 意見一療育手帳Bの利用者は基本的に医療費が3割で、負担が大きいので療育手帳Aの方と同じように、医療費無料化を是非検討していただきたい。

■ ④と⑤は要望事項として、今後検討していきますとの回答でした。

2. 令和3年度の事業計画

基本姿勢

- 昨年度提示したように、全ての家族会が「利用者参加型」のみでなく、「今まで通りにする」と言う各家族会で選択して運営にあたる。
- 道家連と連携し、情報収集及び要望活動を行っていく。
- 道家連としてきょうされんの賛助会員になる予定
- 道東家族会も「手をつなぐ親の会」との交流を行う。
- 道東家族会間の情報交流を積極的に進める。

事業計画

○昨今の変異ウイルス感染状況を見てみると、今年度の事業の全ては難しい状況にあるが、一応昨年同様の事業計画をたて予算化も行った。

- 研修会及び会長会議の開催
- 役員が家族会を訪問し交流を図る

○利用者全員にマスクの現品支給をする
令和2年度はコロナで全事業がストップした。道家連役員会も札幌市集合が1度しかありませんでした。役員会で令和3年度た
会費値下げ案も検討しましたが、支出減少分、利用者に直接マスクを還元することにしました。一人10枚(130円)、全体で14万円程度を見込みました。

後日、事務局より会長宛で各施設にお送りします。

3. 役員改選

道東家族会は、令和3年度は役員改選期になっていました。しかし、昨年度の事業中止及び、役員会も開催できない状況でしたので、1年間だけ皆留任といたしました。

コロナ変異ウイルス

○現在の変異ウイルスは、感染力が強く子どもや若者への感染が多く見られ若者の重症化が目立つという。

道東家族会では、最初にコロナの発症した向陽園だけで収まっています。向陽園のその時の状況や対策を令和2年7月に発行した道東家族会便りNo.5でお知らせしました。その後、多くの施設での感染状況をニュースで見えていて、向陽園がよく職員2名(看護師・夜警員)と利用者9名(しらかばホーム)で収まったものと思います。その後、施設長とも話をしましたが、その大きな要因は、

- 初めに発症した患者を、陽性と判定が出るまでいかに対応するか(場所・人)
- 道・振興局・保健所・病院が連携して敏速にどう動いてくれるか
- 長期戦になるので、職員及び法人職員がどのように動いてくれるか
等が感染を拡大するかどうかのカギになるとのことでした。

◆家族会は、直接手を出せないのも、ただただ職員の心の応援団でした。